

2026 年度 長野県立大学 一般選抜（前期日程）
グローバルマネジメント学部 小論文 出題意図

【概要】

社会生活の全般において、今後、ますます発展する AI 技術と向き合っていかなばならないことは明らかである。本学部のアドミッション・ポリシーが掲げる、ビジネスの場面や社会・地域の課題解決の場面において、その重要性は一層高まるであろう。そこで、本年は、AI やロボットをめぐる諸問題とそれを規制する法のありかたに関する問題文を提示したうえで、正確な文章読解力、問題認識力、論理的思考力を試す問題を出題した。

【問 1】

法の特定の性格と、自律的主体だけが持つ能力の組み合わせにより生じる命題につき、問題文中の説明の構図を理解し、適切に文章化する力を試す問題である。

【問 2】

AI やロボットの人間とは異なる規範への反応構造について、問題文が、「従いそこね」という言葉を使いながら、単純なロボットや高度な AI・ロボットにつきどのように論じているのかを的確に読み取り、指定された文字数で説明することができるかを問う問題である。

【問 3】

概要で述べたように AI やロボットの判断や行動に対する規制のあり方は現代社会における課題の一つである。本問は問題文を踏まえたうえで、この現代的な課題を認識し、解決に向けて自らの考えを形成し、論理的に他人に説明することができるかどうかを受験者に問う問題である。